

第4講 アイディアの創出

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] アイディアを出してまとめていく方法

1 マインドマップ

「ミニマインドマップ」(別紙参照)をまず書いてみる。何枚か書いてみて、それを集積して「フルマインドマップ」を書く。

- アイディアの洗い出し
- 情報の整理
- 足りない情報や課題の整理 今後の情報収集

大きな紙と色ペンを用意するとよい(月刊ビジネスアスキー編集部, 2010, pp. 12-17)。

2 KJ法

川喜田 (1967; 1970)

- マインドマップとはちがい、こまかいところから作りはじめる
- 適切な大きさの「ラベル」をつくれるかがポイント

3 類似の手法

- 問いと答えのリスト
- 文章や発表の構成を大きな紙に書く
- アウトラインプロセッサ
- マインドマップと同様のことは、PC上でもできる

4 宿題

自分がレポートで取り上げる内容について、現段階でのマインドマップを完成させる。次回の授業時に持ってくること。

文献

- 月刊ビジネスアスキー編集部 (2010) 『本当に頭がよくなるマインドマップ “かき方” 超入門』アスキー・メディアワークス。
川喜田二郎 (1967) 『発想法: 創造性開発のために』(中公新書) 中央公論社。
川喜田二郎 (1970) 『続・発想法: KJ法の展開と応用』(中公新書) 中央公論社。